科目名	生産プロジェクト実習（果樹）	開講時期	1年生　通年
		授業の形態	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	750 時間
担当者名		単位数	25 単位
科目の概要	（1）選定した品目に係る生理生態や栽培技術、販売手法に関する学習		
身に付ける力	（1）選定した品目の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術 （2）選定した品目に係る課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法		
到達目標	（1）選定した品目の基礎的な栽培技術の習得 （2）プロジェクト課題の設定から調査、成果の取りまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を養う		

授業計画		授業内容・方法	時間数	講師
	1	生産プロジェクトの課題設定	4	
	2	生産プロジェクトの設計書作成	8	
	3	生産プロジェクトの実施	714	
	4	中間検討	4	
	5	生産プロジェクト報告書作成	20	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			

テキスト・副教材	

評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技、思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	施設園芸（2年生）	開講時期	2年生　後期
		授業の形態	講義
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力	時間数	15 時間
担当者名		単位数	1 単位
科目の概要	（1）講義、実演を通じたパイプハウス建設に関する学習		
身に付ける力	（1）パイプハウス建設に関する基礎知識・技術		
到達目標	（1）パイプハウスの建設方法を理解する		

授業計画		授業内容・方法	時間数	講師
	1	パイプハウスの構造と使用工具（講義）	1	
	2	パイプハウスの建設手順（講義）	1	
	3	部材の準備と印付け（実習）	1	
	4	アーチの挿入・連結（実習）	2	
	5	梁の取付け（実習）	1	
	6	妻柱の建立、ドアの取付け（実習）	2	
	7	筋交いとレールの取付け（実習）	2	
	8	フィルムの被覆（実習）	1	
	9	パイプハウス建設のまとめ・振り返り（講義）	1	
	10	パイプハウスの解体（実習）	2	
	11	定期試験	1	
	12			
	13			
	14			
	15			

テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験	知・技、思・判・表	70	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	30	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	営農計画	開講時期	2年生　前期
		授業の形態	講義
ディプロマポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間
担当者名		単位数	1 単位
科目の概要	(1)就農に向けた手順や留意点、生活設計、就農支援制度等に係る学修 (2)就農計画の作成に係る学修		
身に付ける力	(1)新規就農までのプロセス、支援措置に係る基礎知識 (2)就農計画の作成方法		
到達目標	(1)就農に必要な心構えや留意点を理解する。 (2)新規就農までのプロセス、支援措置を理解する。 (3)就農計画の作成に必要な基礎知識を理解する。		

授業計画		授業内容・方法	時間数	講師
	1	円滑な就農に必要なもの、心構え	1	
	2	就農までのプロセス	1	
	3	就農計画作成に必要な基礎知識	11	
	4	就農に向けた支援策	1	
	5	定期試験	1	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			

テキスト・副教材	

評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験	知・技、思・判・表	100	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度			研修評価		

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	GAP演習	開講時期	2年生　通年
		授業の形態	演習
ディプロマポリシー	経営管理能力	時間数	20 時間
担当者名		単位数	1 単位
科目の概要	（1）JGAP認証に係る管理点・適合基準に関する学習 （2）JGAP認証に係る自己点検に関する学習 （3）JGAP認証に係る審査対応に関する学修		
身に付ける力	（1）JGAP認証およびGAP実践に係る基礎知識、手法 （2）GAP実践を通じた経営管理手法		
到達目標	（1）JGAP認証制度について理解する （2）食品安全、労働安全に対するリスク評価と改善手法について理解する （3）JGAP認証審査に係る対応手法について理解する		

授業計画		授業内容・方法	時間数	講師
	1	JGAP認証制度の概要	1	
	2	JGAP認証に係る管理点・適合基準	3	
	3	食品安全、労働安全に係る自己点検	6	
	4	模擬審査準備	4	
	5	認証審査（審査対応演習）	6	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			

テキスト・副教材	

評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習（野菜）	開講時期	2年生　通年
		授業の形態	演習
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	120　時間
担当者名		単位数	6　単位
科目の概要	（1）主要野菜の生産に必要な作付け計画、ほ場管理、栽培技術、出荷調整技術の学修		
身に付ける力	（1）主要野菜の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術		
到達目標	（1）主要野菜の生産に必要な基礎知識・技術の習得		

授業計画

	授業内容・方法	時間数	講師
1	栽培計画の作成	2	
2	土壌分析と施肥設計	2	
3	ほ場準備（土づくり、土壌消毒、潅水装置の設置）	15	
4	主要野菜の栽培管理と出荷調整	91	
5	栽培実績の作成	10	
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

テキスト・副教材

評価方法

評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
定期試験			実技テスト		
レポート			発表・成果物		
授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	経営プロジェクト実習・卒業論文（野菜）	開講時期	2年生　通年
		授業の形態	実習
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力、豊かな人間性	時間数	750 時間
担当者名		単位数	25 単位
科目の概要	（1）将来の進路を視野に入れて選定した品目に係る課題の抽出、解決方法の検討、成果の取りまとめ、生産性・経済性の評価に関する学習		
身に付ける力	（1）自ら課題を発見し、解決する能力 （2）課題の設定、調査、成果の取りまとめ、発表に関する基礎知識・手法		
到達目標	（1）将来の進路を視野に入れて選定した品目に係る栽培技術と経営管理技術の習得 （2）課題の設定、調査、成果の取りまとめ、発表までの一連の作業を通じて農業経営者としての視野を養う		

授業計画		授業内容・方法	時間数	講師
	1	経営プロジェクトの課題設定	10	
	2	経営プロジェクトの設計書の検討、作成	10	
	3	経営プロジェクトの実施	660	
	4	中間検討	10	
	5	経営プロジェクトの取りまとめ、報告	50	
	6	卒業論文の作成	10	
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			

テキスト・副教材	

評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技、思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	先進農家等派遣研修	開講時期	2年生　9月
		授業の形態	実習
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性	時間数	150 時間
担当者名		単位数	5 単位
科目の概要	先進農家・農業法人での1カ月間の研修		
身に付ける力	担い手としての営農意欲の向上		
到達目標	（1）実際の農業経営の実情を理解 （2）農業現場で培われた実践的な技術や知識の習得 （3）担い手として必要な知識・技能の習得		

授業計画		授業内容・方法	時間数	講師
	1	先進農家等への派遣研修（1カ月）	145	（研修先）先進農家等
	2	研修報告会	5	教務課
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			

評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート（日誌・報告書）	思・判・表、知・技	30	発表・成果物	思・判・表、知・技、態	70
	授業・実習態度			研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習（花き）	開講時期	2年生　通年
		授業の形態	演習
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	120　時間
担当者名		単位数	6　単位
科目の概要	（1）主要花きの生産に必要な作付け計画、ほ場管理、栽培技術、出荷調整技術の学修		
身に付ける力	（1）主要花きの栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術		
到達目標	（1）主要花きの生産に必要な基礎知識・技術の習得		

授業計画		授業内容・方法	時間数	講師
	1	栽培計画の作成	4	
	2	土壌分析と施肥設計	3	
	3	ほ場準備（土づくり、土壌消毒、潅水装置の設置）	30	
	4	主要野菜の栽培管理と出荷調整	75	
	5	栽培実績の作成	8	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			

テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	経営プロジェクト実習・卒業論文（花き）	開講時期	2年生　通年
		授業の形態	実習
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力、豊かな人間性	時間数	750 時間
担当者名		単位数	25 単位
科目の概要	（1）将来の進路を視野に入れて選定した品目に係る課題の抽出、解決方法の検討、成果の取りまとめ、生産性・経済性の評価に関する学習		
身に付ける力	（1）自ら課題を発見し、解決する能力 （2）課題の設定、調査、成果の取りまとめ、発表に関する基礎知識・手法		
到達目標	（1）将来の進路を視野に入れて選定した品目に係る栽培技術と経営管理技術の習得 （2）課題の設定、調査、成果の取りまとめ、発表までの一連の作業を通じて農業経営者としての視野を養う		

授業計画		授業内容・方法	時間数	講師
	1	経営プロジェクトの課題設定	10	
	2	経営プロジェクトの設計書の検討、作成	10	
	3	経営プロジェクトの実施	660	
	4	中間検討	10	
	5	経営プロジェクトの取りまとめ、報告	50	
	6	卒業論文の作成	10	
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			

テキスト・副教材	

評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技、思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習（果樹）	開講時期	２年生　通年
		授業の形態	演習
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	120　時間
担当者名		単位数	6　単位
科目の概要	（1）主要果樹の生産に必要な栽培計画、ほ場管理、栽培技術、出荷調整技術の学修		
身に付ける力	（1）主要果樹の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術		
到達目標	（1）主要果樹の生産に必要な基礎知識・技術の習得		

授業計画		授業内容・方法	時間数	講師
	1	主要果樹の栽培管理 （ブドウ、ナシ、カンキツ類について、山口県果樹栽培指導指針に記載のある作業内容（目的、方法、期限など）について、プリントを用いて作業前に説明する。その後、各自で作業する。）	80	
	2	主要果樹の出荷調製、販売方法の検討・実践	20	
	3	主要果樹の栽培実績の取りまとめ、次年度の計画作成	20	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			

テキスト・副教材	

評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	経営プロジェクト実習・卒業論文（果樹）	開講時期	2年生　通年
		授業の形態	実習
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力、豊かな人間性	時間数	750 時間
担当者名		単位数	25 単位
科目の概要	（1）将来の進路を視野に入れて選定した品目に係る課題の抽出、解決方法の検討、成果の取りまとめ、生産性・経済性の評価に関する学習		
身に付ける力	（1）自ら課題を発見し、解決する能力 （2）課題の設定、調査、成果の取りまとめ、発表に関する基礎知識・手法		
到達目標	（1）将来の進路を視野に入れて選定した品目に係る栽培技術と経営管理技術の習得 （2）課題の設定、調査、成果の取りまとめ、発表までの一連の作業を通じて農業経営者としての視野を養う		

授業計画		授業内容・方法	時間数	講師
	1	経営プロジェクトの課題設定	10	
	2	経営プロジェクトの設計書の検討、作成	10	
	3	経営プロジェクトの実施	660	
	4	中間検討	10	
	5	経営プロジェクトの取りまとめ、報告	50	
	6	卒業論文の作成	10	
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			

テキスト・副教材	

評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技、思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度